

研究所だより
56号 2023. 8. 30

せんじょうち

発行/編集
黒部川扇状地研究所
Tel/Fax 0765-72-0013
E-mail senjochi@ma.mrr.jp

令和5年度 夏季研究例会

連日猛暑の中、夏季研究例会の話題は黒部川の「治水」と「洪水」。たくさんの会員や地域の皆様に参加をいただきました。発表は、昭和 44 年時の洪水の記録画像を流すことで臨場感がわき、今と構造が違う昔の堤防の弱点、霞堤や用水の効果を再確認。「川は生きている」との発表者の言葉が印象的でした。「明治期の識者の治水観」について講演された松島氏。石川県から分県した富山県は財政の 70%以上を治水事業に充て、県会議員は各自の治水論をもって議会に臨んでいたこと。黒部市の菅野新作氏の「意見」や入善町の川瀬八郎氏の予算獲得の戦略などを挙げ、当時の人々の黒部川治水への思いが実感できました。



昭和 5 年県庁舎消失で明治期などの貴重な資料も消失。苦労して探し出した資料の読み取りに松島氏の手腕を感じました。



7/14 (金) 扇状地カフェ①



第一回は若島研究員と寺島研究員の「黒部川と人々の暮らし～発電所を眺めてみよう～」でした。二人で説明や話題提供をしたり、会場の質問に答えたり、参加者と距離の近さを感じるカフェになりました。



カレーセット



小学生向け行事のあんなことこんなこと

水の恵みウォーク (7/29)・FAN 検隊 (8/2・3)

今年度は小学校3・4年生を中心に活動。水生の生き物採取やペットボトルのイカダ作り等の活動をしました。



ヘビトンボやミズカマキリの幼虫、ドジョウやヤマメ等、初めて見る生き物に命を感じ環境を守りたいと願う子ども達。



水の恵みウォーク

FAN 検隊： 水とかかわった二日間



高瀬湧水の庭
扇状地の扇端の
あちこちに湧く



町内の小学校5・6年生 12 名が参加。入善町の西を流れる黒部川が作りだした扇状地について学ぶ 2 日間。入善ジャンボスイカ畑、沢スギ、高瀬湧水の庭等川がつくった大地の証拠を訪ね、水との関わりについて学びました。最後は黒部川の水を丸ごと体感。流れの速さ、冷たさ、楽しさ、怖さ等。

